

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 第一三共株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 4568 URL <http://www.daiichisankyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 庄田 隆

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長

(氏名) 斎 寿明

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 03-6225-1126

平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	470,568	15.8	50,850	△17.5	52,259	△12.4	18,691	△45.0
21年3月期第2四半期	406,320	—	61,611	—	59,636	—	33,971	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	26.55	26.54
21年3月期第2四半期	47.66	47.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	1,460,320	880,226	58.5	1,213.76
21年3月期	1,494,599	888,617	57.7	1,226.04

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 854,407百万円 21年3月期 863,050百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
22年3月期	—	30.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	960,000	14.0	96,000	8.0	69,000	25.1	40,000	—	56.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 709,011,343株 21年3月期 709,011,343株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 5,079,186株 21年3月期 5,074,868株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 703,934,794株 21年3月期第2四半期 712,754,218株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

2009年4月1日から9月30日までの当第2四半期累計売上高は4,705億円（前年同期比15.8%増）となりました。

前年同期間に比べ円高傾向で推移したものの、2008年10月に子会社化したランバクシー・ラボラトリーズLtd.（以下「ランバクシー社」）の売上高661億円の寄与により増収となりました。

利益面では、研究開発投資の拡大などにより、営業利益は508億円（前年同期比17.5%減）、経常利益は522億円（前年同期比12.4%減）となりました。また、試験研究費税額控除の不適用及び過年度の法人税等の修正などにより、四半期純利益は186億円（前年同期比45.0%減）となりました。

なお、当期におきましては、7月に日本国内で合成抗菌剤クラビットの高用量製剤を発売いたしました。また、抗血小板剤エフィエントにつきましては、英国、ドイツなどに続き、8月に米国にて販売を開始し、順調に推移しております。

[所在地別セグメント]

①日本

日本の売上高は、2,638億円（前年同期比0.7%減）となりました。

国内医療用医薬品では、高コレステロール血症治療剤メバロチンの売上げが減少したものの、高血圧症治療剤オルメテック、合成抗菌剤クラビット、消炎鎮痛剤ロキソニンブランドなどが伸長し、売上高は2,132億円（前年同期比4.0%増）となりました。

また、海外ライセンサーへの輸出及びロイヤリティ収入では、円高の影響や合成抗菌剤レボフロキサシンの輸出の減少などにより、売上高は254億円（前年同期比24.8%減）となりました。

ヘルスケア品では、総合感冒薬ルルアタックEXをはじめとする新製品が好調に推移したものの、改正薬事法施行に伴うガスター10など第1類医薬品の売上減少などにより売上高は230億円（前年同期比4.1%減）となりました。

②北米

北米の売上高は、1,087億円（前年同期比13.3%増）となりました。

円高傾向に伴う為替の影響があったものの、高血圧症治療剤ベニカー、エイゾール、高コレステロール血症／2型糖尿病治療剤ウェルコールなどが現地通貨ベースで引き続き伸長していることに加え、ランバクシー社の売上寄与もあり、二桁成長となりました。

③欧州

欧州の売上高は、ランバクシー社の売上寄与や、高血圧症治療剤オルメテック、セビカーの伸長などにより、469億円（前年同期比39.5%増）となりました。

④インド

インドの売上高は、ランバクシー社の売上げなどで、279億円となりました。

⑤その他の地域

その他の地域の売上高は、アジア地域の売上増加などにより230億円（前年同期比108.4%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における純資産は8,802億円（前期末比83億円減少）、総資産は1兆4,603億円（前期末比342億円減少）、自己資本比率は58.5%（前期末57.7%）となりました。

純資産の減少は、利益剰余金に四半期純利益を計上した一方、前期末に係る配当金の支払いを実施したことによるものであります。

総資産については、純資産の減少に加え、社債の発行により短期借入金を返済すると同時に有利子負債全体の削減に努めたこと、また、繰延税金資産を取り崩し法人税等を計上したことなどから前期末から減少しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

2009年7月31日に公表した2010年3月期連結業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
（簡便な会計処理）

① 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

ただし、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,691	76,551
受取手形及び売掛金	216,916	195,512
有価証券	209,341	235,475
商品及び製品	91,264	93,502
仕掛品	17,956	14,496
原材料及び貯蔵品	34,318	31,477
繰延税金資産	62,064	76,747
その他	42,019	60,761
貸倒引当金	△1,115	△1,018
流動資産合計	771,458	783,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	129,709	132,732
機械装置及び運搬具（純額）	46,889	46,038
土地	42,855	42,358
建設仮勘定	16,321	13,315
その他（純額）	15,036	15,669
有形固定資産合計	250,812	250,113
無形固定資産		
のれん	74,111	77,380
その他	111,072	115,180
無形固定資産合計	185,183	192,560
投資その他の資産		
投資有価証券	151,694	153,727
長期貸付金	478	614
前払年金費用	5,383	6,920
繰延税金資産	79,326	91,600
その他	16,292	15,864
貸倒引当金	△309	△309
投資その他の資産合計	252,866	268,418
固定資産合計	688,862	711,093
資産合計	1,460,320	1,494,599

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,780	59,419
短期借入金	142,578	264,345
未払法人税等	4,081	8,243
返品調整引当金	857	589
売上割戻引当金	2,189	2,666
その他	162,600	173,271
流動負債合計	370,088	508,535
固定負債		
社債	100,000	—
転換社債型新株予約権付社債	50,430	47,082
長期借入金	25,488	15,852
繰延税金負債	5,610	5,427
退職給付引当金	11,611	10,589
役員退職慰労引当金	152	177
環境対策引当金	2	92
その他	16,709	18,224
固定負債合計	210,006	97,447
負債合計	580,094	605,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	105,194	105,194
利益剰余金	744,351	753,820
自己株式	△14,557	△14,555
株主資本合計	884,987	894,459
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,228	19,882
繰延ヘッジ損益	782	76
為替換算調整勘定	△58,590	△51,367
評価・換算差額等合計	△30,579	△31,408
新株予約権	3,081	2,390
少数株主持分	22,736	23,175
純資産合計	880,226	888,617
負債純資産合計	1,460,320	1,494,599

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	406,320	470,568
売上原価	97,643	137,247
売上総利益	308,677	333,320
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	53,137	52,205
給料手当及び賞与	45,097	56,979
退職給付費用	3,710	5,639
研究開発費	82,325	94,119
その他	62,795	73,526
販売費及び一般管理費合計	247,065	282,470
営業利益	61,611	50,850
営業外収益		
受取利息	3,153	2,613
受取配当金	1,889	1,332
デリバティブ評価益	—	8,698
その他	1,067	2,161
営業外収益合計	6,110	14,805
営業外費用		
支払利息	7	3,081
為替差損	3,089	7,976
持分法による投資損失	148	118
デリバティブ評価損	2,292	—
その他	2,548	2,219
営業外費用合計	8,085	13,396
経常利益	59,636	52,259
特別利益		
固定資産売却益	836	531
投資有価証券売却益	0	1,844
貸倒引当金戻入額	6	—
特別利益合計	842	2,375
特別損失		
固定資産処分損	1,725	491
環境対策費	—	482
減損損失	1,642	—
投資有価証券評価損	318	—
環境対策引当金繰入額	196	—
関係会社株式売却損	15	—
特別損失合計	3,897	974
税金等調整前四半期純利益	56,581	53,660
法人税等	22,610	36,743
少数株主損失(△)	—	△1,774
四半期純利益	33,971	18,691

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	56,581	53,660
減価償却費	19,281	22,027
減損損失	1,642	—
のれん償却額	2,949	4,399
デリバティブ評価損益 (△は益)	—	△8,698
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△83	42
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	227	238
前払年金費用の増減額 (△は増加)	662	1,537
受取利息及び受取配当金	△5,042	△3,945
支払利息	7	3,081
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,844
固定資産売却損益 (△は益)	888	△39
持分法による投資損益 (△は益)	148	118
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,934	△20,677
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,016	△3,471
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,114	△2,138
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△11,311	△7,425
その他	△3,525	14,564
小計	45,360	51,430
利息及び配当金の受取額	5,107	4,377
利息の支払額	△7	△2,261
法人税等の支払額	△31,694	△13,976
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,766	39,570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,010	△9,022
定期預金の払戻による収入	1,511	20,953
有価証券の取得による支出	△71,308	△21,905
有価証券の売却による収入	102,178	78,336
有形固定資産の取得による支出	△8,822	△12,303
有形固定資産の売却による収入	1,156	827
無形固定資産の取得による支出	△20,049	△899
投資有価証券の取得による支出	△188,429	△6,160
投資有価証券の売却による収入	6	6,389
子会社株式の取得による支出	—	△1,498
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△24,266	—
貸付けによる支出	△97	△323
貸付金の回収による収入	721	172
その他	12,362	376
投資活動によるキャッシュ・フロー	△198,047	54,942

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△58	△124,204
長期借入れによる収入	—	11,172
長期借入金の返済による支出	—	△412
社債の発行による収入	—	99,688
自己株式の取得による支出	△45,809	△17
自己株式の売却による収入	13	3
配当金の支払額	△25,153	△28,129
その他	△19	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,029	△42,031
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,918	△2,643
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△252,228	49,838
現金及び現金同等物の期首残高	444,334	177,769
現金及び現金同等物の四半期末残高	192,106	227,608

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「医薬品事業」の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「医薬品事業」の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	265,668	95,924	33,644	11,082	406,320	—	406,320
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,023	25,577	11,689	362	64,653	(64,653)	—
計	292,692	121,502	45,334	11,444	470,973	(64,653)	406,320
営業利益	26,736	27,817	1,274	1,103	56,931	4,679	61,611

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	インド (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	263,891	108,710	46,923	27,995	23,047	470,568	—	470,568
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	30,333	21,559	17,565	10,872	622	80,954	(80,954)	—
計	294,225	130,270	64,488	38,868	23,670	551,522	(80,954)	470,568
営業利益又は営業損失 (△)	27,427	26,980	3,109	△4,896	1,359	53,980	(3,130)	50,850

(注) 1. 国又は地域の区分の方法

地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の各区分に属する国又は地域

北米 …… 米国、カナダ

欧州 …… ドイツ、英国、フランス、スペイン、イタリア、ルーマニア等

インド …… インド

その他 …… 中国、台湾、ブラジル等

3. 国又は地域の区分の方法の変更

国又は地域の区分の方法については、従来、「日本」「北米」「欧州」「その他」の4区分としておりましたが、「その他」地域に含めて表示しておりました「インド」地域の事業規模が拡大し重要性が増していることから、事業活動をより適切に表現するため、第1四半期連結会計期間より「インド」地域を「そ

の他」地域から区分掲記しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「その他」地域の売上高は38,724百万円（うち外部顧客に対する売上高は27,995百万円）減少し、営業利益は5,039百万円増加しております。

なお、「日本」「北米」「欧州」に与える影響額は、ありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（百万円）	111,900	45,695	17,136	174,733
II 連結売上高（百万円）				406,320
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	27.5	11.3	4.2	43.0

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（百万円）	121,448	56,889	54,224	232,562
II 連結売上高（百万円）				470,568
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	25.8	12.1	11.5	49.4

（注） 1. 国又は地域の区分の方法

地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

北米 …… 米国、カナダ

欧州 …… ドイツ、英国、フランス、スペイン、イタリア、ルーマニア等

その他 …… アジア、中近東、中南米等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。